

## 【理事会議事録】

日 時：2007年9月26日（水）12：03～13：05

場 所：岐阜大学全学共通教育棟1階第1会議室

出席者：土佐，柴橋，國枝，花岡，高田，北本，田村，嶋作，福田，高羽，堂谷，比田井，中本，和田

表決状提出者：渡部

他に東條事務長が出席した。

## 報 告

議事に先立ち署名人として花岡，高田両庶務理事を選出した。

### 1. 前回議事録確認

高田庶務理事より前回議事録として資料1が示され，了承された。

### 2. 開催中の年会・その後の年会について

開催中の2007年秋季年会について高羽開催地理事より口頭で説明があった。年会の運営については特に大きな問題はなく進行中であり，プロジェクターでPCとの相性問題でいくつかトラブルとなった程度との報告がなされた。懇親会は事前申し込みで260人ほどだが，バスの増便なども行う予定で問題なしであるとの報告であった。前日行われた記者会見には新聞社4社が参加，他に1放送局から資料提供の要請があったこと，セッションの初日にはさらにもう1放送局による取材があったことも報告された。ジュニアセッションや公開講演会についての取材が多かったことも報告された。翌日の新聞などにさらに5件の記事を確認した。

次回の東京での年会について嶋作開催地理事より口頭で報告があり，本年会でそれぞれの担当者が各会場等を下見し，準備に必要な事項をチェック中であるとの報告があった。

2010年以降の年会開催地について，西日本に偏りすぎであるとの指摘があった件について，広島での春季年会の開催の打診や，その他の候補地について至急話を進める予定であることが高田庶務理事より口頭で報告があった。

### 3. ロゴの商標登録と記念切手について

学会ロゴについて，北本会計理事より口頭で説明が行われた。本年会の総会において表彰を行う予定であること，優秀賞の方1人しか表彰式には来ないこと，最優秀賞の英語版の商標登録申請中であり，半年ぐらいで判断が出る見込みであることが報告された。

北本会計理事より，天文学会100周年の記念切手は郵政公社においてデザインが検討されている段階であるとの報告があった。まだデザイン決定には至っておらず，天文学会からも最終デザインへ向けて提案を行っていきたい旨報告された。また，切手の完成・発売に関する記者発表に関しての調整はまだ進んでいないこともあわせて報告された。3月21日に発売予定で，通常，発売1から2カ月前に記者発表をやっているとのこと。切手の販売については公共天文台等でも行う方向で調整中である旨あわせて報告された。

### 4. 百周年記念式典等の準備状況について

百周年記念式典について柴橋副理事長より口頭で説明があった。東北大での100周年記念式典の例を参考にするなど，招待・案内状などの策定に向けて現在準備中であること，11月には招待者等を確定させる予定であることが報告された。招待者についてはまだ確定事項ではないが10-20人程度を考慮しており，具体的には文科省関係者，学振理事長などが考えられていること，他学会についての招待等はどうか検討中であることが報告された。案内状を天文学会員のどのレベルにまで出すかなど，今後方針を至急詰める予定であることもあわせて報告された。

関連して学会100周年および世界天文年に関する記念展示について國枝副理事長より資料6に基づいて説明があった。2009年に展示を行う予定であるが，国立科学博物館以外に名古屋と仙台の科学館を回ることは確定したことが報告された。また，展示に使えるであろう貴重書物について金沢工大と明星大学を訪問して確認等を行ったこともあわせて報告された。金沢工大としては貸し出したいという意向

を持っているようで、今後貸し出しに際しての保険料等を考慮しつつ貸し出してもらう書物を選定していくことが報告された。

#### 5. いわゆる「小委員会」設置の手順について

高田庶務理事より、小委員会の設置の手続きについて定款・内規集に基づいて説明が行われた。定款には評議員会での議決によって小委員会設置に必要な内規を決めることが記されている。一方、委員会等に関する共通内規では、理事会が小委員会設置を決定するとの記述があつて、両者の整合性がよくない。今後必要に応じて修正をすることも考慮することが報告された。

#### 6. その他

##### (1) 開催地理事（理事交替時）就任前の肩書きについて

中本年回理事より資料2に基づいて、開催地理事の就任前の肩書きについて説明が行われた。理事会の任期1年目の年会を担当する開催地担当者は、担当する年会が開催されるまで1年を切っても理事ではない状態がしばらく続くが、年会開催の準備は通常1年以上前から進められ、この間、開催地担当者と天文学会や年会の間の関係を示すものがないため準備作業に支障をきたす場合がある。この問題を解消するため、理事に就任する前の開催地担当者に「日本天文学会〇〇年会準備幹事」の肩書きを与え、日本天文学会を代表する準備担当者であることを内外に明示できるようにすることが目的であることが報告された。今後の運用方針は以下のとおり。

1. 年会を開催する開催地担当者は、必要な場合、「日本天文学会〇〇年会準備幹事」に就くことができる。ただし、〇〇には開催地の名称を入れる。

2. 年会準備幹事の肩書きは開催地担当者からの申し出に基づいて庶務理事が承認ののち付与し、理事会に報告する。年会準備幹事の交代等は、庶務理事の承認のもとに行う。

3. 年会準備幹事は、年会開催前年の6月頃から理事会にオブザーバとして参加してもらい、準備の進捗状況を説明してもらう。

4. 年会準備幹事がそのまま開催地理事になる必要はない。

## 議 題

#### 1. 新入会員の承認

高田庶務理事より資料3に基づいて新規入会者についての報告が行われ承認された。また、退会者等についてもあわせて報告された。

#### 2. 早川幸男基金内規の改訂

栗木早川幸男基金選考委員会委員長の代理として北本会計理事より資料4に基づいて説明が行われた。半額援助について、その根拠を明記すること、援助対象費目の拡大を目的とした改訂をすること等が提案された。議論の後、一部の記述の修正を施した上で評議員会に諮ることを承認することとした。

#### 3. 衛星設計コンテスト委員会に関する内規の制定

北本会計理事より資料5に基づいて説明が行われた。天文学会が共同主催者として参加している衛星設計コンテストに対して、今後も長く参加することを考えると学会側の受け皿を明確な形で持つておくことが必要であろうとの認識にたつて衛星設計コンテスト小委員会を設置することの提案が行われた。議論の後、評議員会に議案として諮ることが承認された。

次回開催は1月12日（土）に決定された。場所については未定。

2007年10月22日

議 長 土佐 誠

署名人 花岡庸一郎

署名人 高田 唯史